

(仮称) 千葉県カーボンニュートラル推進方針 (イメージ) ～環境保全と経済成長の好循環を目指して～

1 推進方針の意義・位置づけ

- ・2050年カーボンニュートラルに向けて、千葉県として目指す姿や、様々なポテンシャルを活用した取組の方向性等を示すものとする。
- ・カーボンニュートラルに向けた取組について、「千葉県総合計画」において施策横断的な視点から全庁を挙げて推進するとしていることを踏まえ、各分野において関連する取組等についての基本となる中長期的な考えを示すものとして位置付ける。

2 基本的な考え方・視点

- 本県の自然環境や産業特性などのポテンシャルを活かし、環境保全を図りつつ、経済・社会の持続的発展に資する取組を進める。
- ・行政・県民・事業者等、あらゆる関係者がカーボンニュートラルの目的を共有し、主体的に考え取り組むよう、意識改革や行動変容につながる取組を進める。
- ・カーボンニュートラルに向けた産業界の技術革新や社会実装などを後押しし、経済の活性化や豊かな暮らしの実現につながる取組を進める。
- ・カーボンニュートラルとともに災害対応を視野に入れ、電力強靱化にもつながる取組を進める。
- ・本県を舞台に先進事例や優良事例を積み重ね、県内各地に広く波及させるとともに、全国をリードしていく。

3 千葉県の特色やポテンシャルと取組の方向性

※現時点での例示

<想定される分野・部門>

(1) 再生可能エネルギー

- ・太陽光発電の促進、銚子市沖やいすみ市沖の洋上風力発電の促進 など

(2) 京葉臨海コンビナート

- ・蓄電池やS A F (バイオ燃料)、水素・アンモニアの利活用、鉄鋼業におけるカーボンリサイクル高炉等技術革新への期待 など

(3) エネルギー供給拠点

- ・水素・アンモニア発電の実証実験による可能性。千葉港や木更津港等のカーボンニュートラルポートの推進 など

(4) 成田空港等の広域物流拠点

- ・空港と地域が連携した脱炭素化社会の検討。S A F 導入の検討 など

(5) 農林水産分野

- ・土壌への炭素貯留の促進、グリーンカーボンに加えブルーカーボンへの期待 など

(6) 県民生活分野

- ・EVカーシェアリング (災害時の非常用電源にも活用)、Z E Hの推進 など

(7) 市町村の先進的な取組

- ・環境未来都市 (柏市)、SDG s 未来都市 (市原市)、マイクログリッド (睦沢町) など

※ この資料は、現時点のイメージを示したものであり、詳細については、今後、各部局等と意見調整しながら詰めていきます。

※ 今回改定する「千葉県地球温暖化対策実行計画」の中でも、2050年カーボンニュートラルに向けた方向性や取組を取り上げていく予定であり、推進方針の策定と計画の改定は同時進行で進めていきます。